

Ref.(3)

⑩日本国特許庁
公開特許公報

⑪特許出願公開
昭52-148970

⑫Int. Cl.
B 08 B 3/02

識別記号

⑬日本分類
92(5) A 412.1
92(5) A 05

府内整理番号

6410-34

6410-34

⑭公開 昭和52年(1977)12月10日

発明の数 2

審査請求 未請求

(全 12 頁)

⑮シートバイル等の再生設備

⑯特 願 昭51-64140
⑰出 願 昭51(1976)6月3日
⑱發明者 小平欽之輔

横浜市港北区富士塚2の27の32

⑲出願人 丸藤シートバイル株式会社
東京都中央区日本橋小網町1丁
目2番3号 (曙ビル)
⑳代理人 弁理士 芦田直衛

BEST AVAILABLE COPY

明細書

発明の名称 シートバイル等の再生設備

特許請求の範囲

1. シートバイル等の供給装置、土砂剥し装置、圧力水による洗浄装置、洗浄済みシートバイル等の払出し装置を一貫線状に配列させ、かつ前記供給装置と土砂剥し装置の直下に、土砂剥出用のベルトコンベヤを配設し、その排出方向をシートバイル等の供給方向とは逆にし、更にその排出土を供給装置の始端側に設けた掘み上げ装置により掘出させ、一方洗浄装置から排出される汚泥水は、これを汚水処理装置に導いて淨化し、その淨化水を洗浄装置において循環再用するようにしたことを特徴とするシートバイル等の再生設備。

2. シートバイルの供給装置、土砂剥し装置、圧力水による洗浄装置、洗浄済みシートバイルの払出し装置の各装置を一貫線に配列すると共に

に、供給装置と土砂剥し装置の直下に設けたベルトコンベヤの排出端に、往復動式の台車を設置させ、この台車上に複数個の土砂投入箱を設置して、前記コンベヤによる排出土砂を受入れるようになし、一方前記払出し装置を、中央のロータコンベヤ、左右のシートバイル反転装置で構成させて払出されたシートバイル等を前記ロータコンベヤの延長上に形成させた貯蔵保管エリアとその左右に位置する貯蔵保管エリアとによって効率的に搬送せることができるようとしたことを特徴とするシートバイルの再生設備。

発明の詳細な説明

本発明はシートバイルまたはH型鋼の再生設備に関するもので、特に収容材として使用された後に回収されてきた既配シートバイルまたはH型鋼等の未整備材料を、新品同様の整備品に仕上げるための再生装置に関するものである。